

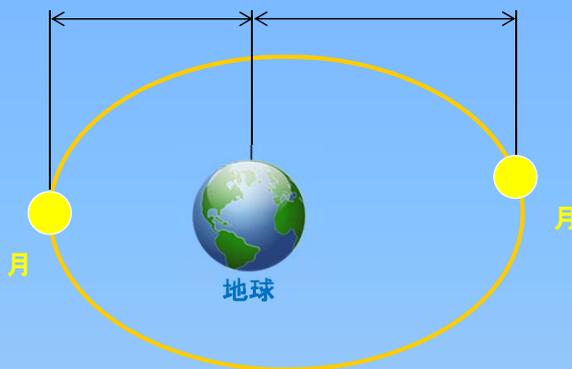
# 今年最大の満月を見よう!

煌々と私たちを空から照らしてくれる満月。今月の満月はちょっといつもと違います。今月の満月は、今年最大の満月なのです。え、月って大きさが変わるの!? そう、月は日々、見かけの大きさが変わります。

## 月の大きさが変わる?

月は地球の周りを回っていますが、その道すじ(軌道)は円ではなく、ほんの少しつぶれた楕円です。そのため地球に近いときと遠いときがあり、地球と月の間の距離が変わります。2013年6月23日の満月は、月がほぼ近地点(地球に最も近い点)に月があり、その距離は35万7000kmです。

6月23日 ほぼ近地点で満月 (35万7000km)  
12月17日 遠地点3日前で満月 (40万3900km)



日付:6月23日  
距離:35万7000km  
視直径:33.5'



12月17日  
40万3900km  
29.6'

## 大きさはこんなに違う

では、近いときと遠いときではどのくらい大きさが変わるのでしょう? 今年最も近い=大きい満月は6月23日、最も遠い=小さい満月は12月17日です。見た目の大きさは12%も変わります(500円玉と10円玉の大きさの違いに相当します)。左の絵を見てもわかりますが、けっこう変わるのです。

## 満月の見どころは?

満月は、月の正面から光が当たっているため、のっぺりとして凹凸感がなく、クレータなどはあまりよく見えません。その代わりに、新しいクレータから広がる光条(レイ)と呼ばれる模様が見やすくなります。コペルニクスやティコといったクレータのまわりに明るい筋もようが光条です。

